

編集後記

本号では、第49回横幹技術フォーラムでのテーマであった【ビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命の実現に向けた産・学・官の役割と課題】をミニ特集とし、横幹連合会員学会に対するヒアリングから得られた会員学会の要望に関する議論も踏まえて、【Society5.0, 超スマート社会に向けた新しい価値を創造する現在の各学会の取り組みや研究および他分野との研究展望】を特集とした。

第4次産業革命により、つながりを持った価値共創型の社会が創造される。本ミニ特集では、第49回横幹技術フォーラムで議論された内容に基づき、情報化の波がもたらす第4の産業・流通革命の意味すること、そしてその実現のために求められるパラダイム転換の方向について、ビジネスイノベーションの視点から問題提起を行い、我が国における「IoT ビジネスの将来展望」を実践的・理論的観点から、あらためて解説論文として議論して頂き、今後のビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命の実現に向けた産・学・官の連携と横幹連合の寄与に期待し、本ミニ特集を企画した。

丹沢安治氏には「BtoBにおけるプラットフォームビジネスの競争優位戦略」について、近藤信一氏には「日系電子部品メーカーによるIoT市場の市場獲得戦略」とビジネスモデル、馬場健治氏・竹内猷氏・平井千秋氏には「ビジネスイノベーションを生み出す価値協創手法」の有用性と課題をご議論頂いた。

また、第5期科学技術基本計画では、大変革時代において、自ら道を拓いて行くため、新しいことに果敢に挑戦し、変革につながる新たな価値を生み出すことのできる力を強化し、さらに、サイバー空間と実空間の融合により、もの作りだけでなく、経済成長や健康長寿社会の形成、さらには社会変革につなげていき、次々と新しい価値が創出され、豊かな暮らしがもたらされる「超スマート社会」を未来の姿として共有し、世界に先駆け社会課題の解決を実現していく方向性を示している(Society5.0)。従って、現在は、Society5.0, 超スマート社会の方向に向かって、各学術分野も発展

していこうとしているのだと考えられる。そこで、本特集では、5会員学会を選び、Society5.0, 超スマート社会に向けた新しい価値を創造する現在の取り組みや研究に関する論説(解説)を学会を代表する方に依頼し、横断型組織の会誌であるからこそ総合的に見えてくる発展的な議論に期待した。また、より横幹らしい内容になるよう、現状紹介に加え、「他のこんな分野と連携研究ができると、より新たな価値の創造が可能になる」といった意見も加えて頂くこととした。具体的には、まず、JST未来社会創造事業「超スマート社会の実現」領域運営統括の前田章氏に「Society5.0 実現に向けて～技術革新の視点から～」を示して頂き、続いて横幹連合のメンバーが主体となって立案したプロジェクトの「構想駆動型社会システムマネジメントの確立」の提案について西村秀和氏にお示し頂いた。そして、各学会代表として、奥和田久美氏には「研究・イノベーション学会におけるSociety5.0への取り組み」、本多敏氏・永原正章氏には「超スマート社会現実に向けた計測自動制御学会の取り組み」、日本ロボット学会の佐藤知正氏・松日楽信人氏には「ロボット活用ソサエティ5.0 実現へ向けた現場からのアプローチ—きめこまか量質転換改善集積活動—」、木嶋恭一氏には「超スマート社会に向けた新しい価値創造研究：経営情報学会の取り組み」、そしてオペレーションズ・リサーチ学会の大山達雄氏には「現代社会における諸問題解決のための横断型基幹科学技術研究と学際領域研究についての一考察」について解説頂いた。各学会のSociety5.0へ向けた取り組み、他分野との協力関係など、非常に有益な提示をして頂いている。この特集企画は、次号にも続くため、次号にご執筆いただける学会の方には、是非、本号でご提示頂いた学会の取り組みやご意見をお読み頂いてからご執筆頂き、発展的な議論へと展開していくことを期待しています。

最後に、横幹では多数の原著論文の投稿をお待ちしています。

会誌編集委員長 椿 美智子

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

□ 2017 年度役員

会 長	鈴木 久敏（情報・システム研究機構）		
副会長	船橋 誠壽（元・北陸先端科学技術大学院大学）	本多 敏（慶應義塾大学）	
理 事	浅間 一（東京大学）	遠藤 薫（学習院大学）	
	大倉 典子（芝浦工業大学）	大塚 敏之（京都大学）	
	鎌倉 稔成（中央大学）	木村 忠正（電気通信大学）	
	小平 和一朗（アーネスト育成財団）	末岡 徹（(株)地圏環境テクノロジー）	
	田中 覚（立命館大学）	田名部 元成（横浜国立大学）	
	椿 美智子（電気通信大学）	出口 光一郎（東北大学）	
	仲田 隆一（元・(株)東芝）	中西 寛子（成蹊大学）	
	保坂 寛（東京大学）	三上 喜貴（長岡技術科学大学）	
	皆川 健多郎（大阪工業大学）	村上 存（東京大学）	
	横山 清子（名古屋市立大学）	六川 修一（東京大学）	
監 事	北川 源四郎（東京大学）	庄司 裕子（中央大学）	

□ 2017 年度会誌編集委員会

委員長	椿 美智子（電気通信大学）		
副委員長	横山 清子（名古屋市立大学）		
委 員	青柳 秀紀（筑波大学）	穴太 克則（芝浦工業大学）	
	大塚 敏之（京都大学）	金子 勝一（山梨学院大学）	
	小平 和一朗（アーネスト育成財団）	玉置 久（神戸大学）	
	出口 光一郎（東北大学）	藤井 享（(株)日立製作所）	
	松岡 猛（宇都宮大学）	水野 毅（埼玉大学）	
	三宅 美博（東京工業大学）		

■横幹技術協議会の主な活動実績 『横幹技術フォーラム』

横幹連合との共催で定期的開催している「横幹技術フォーラム」では、複合的視点を必要とする企業課題への技術情報を提供しております。

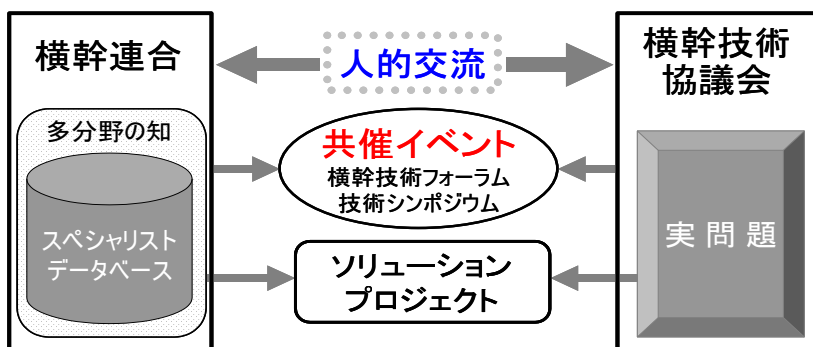
＜過去のフォーラム実績＞

- 第 29 回 知の新しい活用法を求めて～実践と理論の連携～
- 第 30 回 知の統合による経営の高度化に向かって～未来経営の構想と技術課題
- 第 31 回 企業における事業継続計画 (BCP) の必要性
- 第 32 回 情報共有による社会インフラの強靱化～システム技術の新たな挑戦課題～
- 第 33 回 強いぞ！日本
～社会情報学の視点から東日本大震災からの復旧・復興を考える～
- 第 34 回 東日本大震災からの復興支援現場における支援活動
～次世代に向けた日本の街づくりとして我々は何ができるのか～
- 第 35 回 エネルギーマネジメントの新しい局面～社会システムの構築段階を迎えて～
- 第 36 回 アート・デザイン・テクノロジー～近くて遠いその関係～
- 第 37 回 「未来学」の過去・現在・未来
- 第 38 回 サービス学の成立 ～サービス科学・サービス工学の発展を受けて～
- 第 39 回 社会システム論で社会を読み解く
- 第 40 回 社会デザインのためのエージェントベースシミュレーション
- 第 41 回 社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～
- 第 42 回 数学と産業の協働、データサイエンティストの育成
～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～
- 第 43 回 経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察
- 第 44 回 ロボット活用社会の新潮流
- 第 45 回 システムデザイン力を展望する
- 第 46 回 第 6 次産業への取り組み－複数システムの連携による価値構築－
- 第 47 回 4 次産業革命に向けたサービス科学の役割とビジネス応用に向けた課題
- 第 48 回 人工知能によるシステム構想力・統合力の強化
～ものづくりプラス企業の実現に向かって～
- 第 49 回 ビジネスイノベーションが先導する第 4 次産業革命 (IoT/インダストリアル 4.0) の実現に向けた産・学・官の役割と課題とは
- 第 50 回 未来洞察 (Foresight) 活動の取り組みの現状とその活用
－科学技術融合時代の先取りを目指して－
- 第 51 回 ヘルスケア・サイエンスの取り組みと現状
－医療に頼らない健康管理のためのヘルスケア－

※過去のフォーラムプログラムはHP (<http://www.trasti.jp/about.html#forum>) でご覧いただけます

■企業の課題解決支援 (プロジェクト活動)

企業が抱える実問題に対し、他分野の専門家が共同してプロジェクトを組みソリューションを追求するもので、さまざまな要素が絡み合う複雑な課題へアプローチする、新たな産学連携の仕組みとして注目されています。横幹技術協議会では、中核会員企業に初期のフィジビリティスタディ段階のサービスを提供しています。



統合知による産業力強化を推進



横断型基幹科学技術推進協議会

会長 桑原 洋

日立マクセル(株)名誉相談役
元 内閣府総合科学技術協議会議議員

横断型基幹科学技術推進協議会 (略称: 横幹技術協議会) は、企業を会員として横幹科学技術の推進活動を行っています。

「学」を中心とする横幹連合と、「産」を主体とする横幹技術協議会は互いに緊密に連携しながら、横幹科学技術を推進し、産業活動に生かすためのさまざまな活動を行っています。横幹連合と横幹技術協議会は、車の両輪として、横幹科学技術の学としての深化と社会への活用に取り組んでいます。

(設立: 2004 年 5 月)

■参加会員 (2017 年 4 月現在)

- 【中核会員】
株式会社 日立製作所
- 【一般会員】
鹿島建設 株式会社
三菱重工業 株式会社

横断型基幹科学技術推進協議会

Transdisciplinary Science and Technology Initiative

TEL&FAX: 03-6675-4076 URL: <http://www.trasti.jp/>